

オンライン開催

イスラーム・ジェンダー学科研主催 巣ごもり読書会

再帰的近代の アイデンティティ論

今回は『再帰的近代のアイデンティティ論——ポスト9・11時代におけるイギリスの移民第二世代ムスリム』（晃洋書房、2020）を題材に、イギリスの第二世代ムスリムが生きるアイデンティティについて語り手が思うところを話し合います。ふるってご参加ください。

◇司会 後藤 絵美（東京外国語大学AA研）

◆語り手 安達 智史（近畿大学） 鳥山 純子（立命館大学）

2021
5.21 Fri
20:00～21:00



【今回の課題図書】

安達智史『再帰的近代のアイデンティティ論——ポスト9・11時代におけるイギリスの移民第二世代ムスリム』

【登壇者紹介】

◆安達 智史（あだち さとし）

東北大学大学院文学研究科修了、博士（文学）。Institute of Community Cohesion、Institute of Education (UK) 等を経て、現在、近畿大学総合社会学部・准教授。専門：社会学理論、多文化社会論、ムスリム女性研究。主要業績：『再帰的近代のアイデンティティ論』（晃洋書房、2020）、『リベラル・ナショナリズムと多文化主義』（勁草書房、2013）。

◆鳥山 純子（とりやま じゅんこ）

大学卒業時に渡埃（エジプト）。生活者の視点でエジプト都市部の幸せと痛みについて研究を行う。2005年よりお茶の水女子大学で博士後期課程に所属。2015年3月に人類学とジェンダー研究で博士号取得。現在は立命館大学国際関係学部ジェンダー論教員。

参加方法

ご参加希望の方は登録フォーム（<https://forms.gle/VTeeWtKrTe57zxMg8>）またはポスター内のQRコードより前日までにお申し込みください。※ZoomのURLを当日正午までにe-mailアドレスにお送りします。

問い合わせ先

イスラーム・ジェンダー学科研事務局（office@islam-gender.jp）

【注記】

科研費基盤研究(A) イスラーム・ジェンダー学と現代の課題に関する応用的・実践的研究（代表：長沢 栄治）

【共催】

・立命館大学 中東イスラーム研究センター(CMEIS)

・科研費 基盤研究(C)「ポスト世俗化社会における女性ムスリムのスポーツ参加研究——信仰、西洋・近代、主体性」(代表:安達 智史、2021年度～25年度)

・科研費 研究成果公開促進費(学術図書)書籍タイトル「Identity Theory of Reflexive Modernity: Second-Generation British Muslims in Post-9/11」(代表:安達 智史、2021年度～22年度)

・科研費 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)「マレーシア女性の信仰と社会参加をめぐる研究——情報化、アイデンティティ、主体性」(代表:安達 智史、2018年度～21年度)

・科研費 基盤(A)「西洋社会における世俗の変容と「宗教的なもの」の再構成——学際的比較研究」(代表:伊達 聖伸、2020年度～23年度)

